

With

東北大学病院
地域医療連携センター通信

第9号
2008.8

CONTENTS

- 1…… フットセンター開設
「なぜ今足なのでしょうか」
- 2…… 小児外科新科長就任のごあいさつ
コーヒーブレイク
- 3…… 診療科名の変更に伴う
感染症科・呼吸器内科の診療紹介
- 4…… 肝・胆・膵外科のご紹介
- 5…… 看護部のご紹介
- 6…… 市民公開講座開催決定!
お子さま向け入院案内パンフレットを
作成しました!
- 7…… 不妊症看護認定看護師の紹介
精神科デイケアのご紹介
- 8…… 新患日一覧
腫瘍内科 完全予約制のご案内
フットセンターご予約方法のご案内
編集後記



人にやさしく未来をみつめる

東北大学病院

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1番1号
TEL 022(717)7000(代)

地域医療連携センター

TEL 022(717)7131(直通)
FAX 022(717)7132

★ SPECIAL

● 特集 ● フットセンター開設 「なぜ今足なのでしょうか」



形成外科
館 正弘 教授

東北大学病院フットセンター外来は、足病変に関わる各診療科、看護部、コメディカルが協力して横断的治療を行う部署として平成20年5月22日に発足いたしました。当センターは「東北地方の足を救う」ことをコンセプトとして治療、教育、研究を行なっております。国立大学病院として初めての、足に関する横断的治療を行う組織です。

さて、なぜ今足なのでしょうか？ 糖尿病の合併症で足切断に到る事は良く知られています。一度足(足趾)を切断するとさら

に高位での切断にいたることも少なくありません。足を切断することはそれだけに留まりません。足切断後の生命予後は1年生存率60%、5年生存率20%という調査結果もあります(JAMA 293:217-228, 2005)。この数字は進行癌に匹敵するデータです。したがって足を救うことの意義は大きなものがあるのです。

当外来では図1のように皮膚潰瘍病変を診て診断・治療をおこなう

形成外科・皮膚科、血管の評価・治療をおこなう末梢血管外科・血管内治療科、足の変形を扱う整形外科・靴・装具士、実際のフットケアをおこなう看護師、さらに全身管理を担う内科、臨床検査部などがチームを組みます。これらの関係部署が治療を効率的に行ないます。

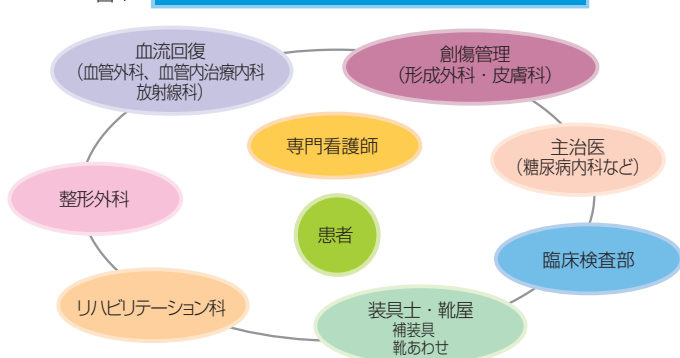
対象疾患は多職種の関与が必要な足病変です。糖尿病性足壊疽のほか、静脈うったい性足潰瘍、血管炎、PAD(peripheral arterial disease)(本邦ではASOと呼ばれることの多い末梢動脈疾患)などです。

ご紹介に際しましては、必ず内科的な病歴をお書き添えいただきたいと存じます。救肢のために緊急で検査・手術が必要な場合は血管外科を中心に対応します。重症の感染症でも緊急の対応を要します。緊急性が無いと判断された場合や、あるいは急性期を過ぎて皮膚潰瘍が落ち着いた場合にはスキンケアを中心としたナースによるケア、装具・靴の選定を行ないます。また、医師教育、看護師教育のために講演会・症例検討会を企画しますので、ご参加頂ければ幸いです。また患者教育も重要ですので、市民公開講座等の勉強会も企画してまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



糖尿病によるアキレス腱部の潰瘍 保存的処置を試行した。右：1年6カ月後の状態 潰瘍は治癒し足底の角質の状態も良好である。

図1 東北大学フットセンター外来



ご予約は地域医療連携センターまでお申し込みください。

- ご予約受付日：金曜日午後（完全予約制）
- ご予約に関する：022-717-7131（地域医療連携センター直通）お問い合わせ

 INFORMATION

● 新診療科長紹介 ●

■ 小児外科・新科長

● 東北大学大学院 医学系研究科 発生・発達医学講座 小児外科学分野


 に お ま さ き
 仁尾 正記 教授

6月1日付けで小児外科科長を拝命いたしました仁尾正記(におまさき)です。

5月まで前任地の宮城県立こども病院外科に勤務しており、これまで地域の皆様にはたいへんお世話になってまいりました。このたび私自身は東北大学病院に移ることになりましたが、小児外科診療につきましては、いずれの病院でもこれまで同様に継続されることとなりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

東北大学における小児外科の歴史は長く、今から50年ほど前、第二外科の桂重次教授(当時)時代にわが国最初の小児外科診療研究グループ作られました。その後を継いだ葛西森夫教授(当時)は、日本に小児外科学の創生を導いた一人で、とくに葛西先生が開発した胆道閉鎖症の外科治療(葛西手術)は有名で、今でも世界中の外科の教科書に必ず掲載されています。このような歴史的背景からこの分野の診療・研究は世界から高い評価を得て参りました。また、小腸移植というかつて実現不可能といわれた治療法に長年取り組み、近年その臨床応用に成功した、国内では数少ない施設のひとつでもあります。

このような先端的研究とは別に、わたしどもが臨床の場で扱っている疾患は多岐にわたっております。ソケイヘルニア、虫垂炎といった頻度の高い疾患から数万-数十万例にひとりしか発生しないような稀な疾患まで、あらゆる疾患を診療の守備範囲としております。患者さんの年齢層は、未熟児・新生児から思春期までが中心ですが、小児外科疾患を有する年長例や、小腸不全症例、重症心身障害を有する患者さんなどは年齢とくに制限を設けずに診療にあたっております。また内視鏡手術や低侵襲手術と呼ばれる患者さんに優しい治療法を積極的に取り入れ、ひとりひとりの患者さんに、より望ましい治療法を選択する、いわばオーダーメイドの小児外科治療を常に心がけております。いつでもお気軽にご相談いただければ幸いです。

～高度救命救急センターのリアルな毎日をお届けします～ * コーヒーブレイク その9

● 救命救急センターとは・・・？

今回はすこし長文です。

このミニコラムを読んでいただいているみなさんにとって、救命救急センターは、文字どおり「命」を救うところ、という印象が強いことと思います。もちろん、われわれ救急医と看護師は、患者さんの救命を第一に考え、どんな絶望の状況でも「他に救命の手立てはないか？」ということを中心に据えて診療しています。そして、次に考えるのが「機能」を救う、ということです。命だけでなく、脳の機能、内臓の機能、手足の機能・・・それらを「いかに病気や怪我をする前に保つことができるか?」。機能を救うこともわれわれの重要な命題です。救命救急センターに運び込まれる患者さんの多くは、「機能」が衰えたり、損傷したりして、重症の患者さんは今まさに「命」の灯が消えようになっています。「命」「機能」を救うため、場合によっては1

分1秒を争う治療を行います。

しかし、どんな生物にもいつかは「死」がおとずれます。消えそうな「命」の灯を消さないように強く願い治療をしても、今の医学ではその運命を変えられない、失いそうな「機能」を戻すように強く願い治療をしても、その運命を変えられない…。救命救急センターの診療の中にはそういう場面も多々あります。患者さんやご家族の方々の、悲しみや絶望、そして、治したい、元気になるたいという気持ちにしっかり向き合い、医療者として出来る最大限の治療をしつつ、声をかける何気ない一言一言にも気を遣うなど、治療以外の面でも患者さんやご家族の方々をサポートしていく場があるのではないかと感じています。救命救急センターは、患者さんの病気や怪我をみるだけでなく、つまり「命」「機能」を救うだけでなく、「人」としての対応も特に重要な点だと強く考えさせられます。



INFORMATION

平成20年4月より以下の診療科名が変更となりました。
それに伴い各診療科の専門領域、診療体制についても変更がありましたので
ご紹介致します。

(旧) 感染症・呼吸器内科 **▶▶▶ 感染症科**

(旧) 遺伝子・呼吸器内科 **▶▶▶ 呼吸器内科**

感染症科の診療紹介

感染症科
科長 **服部 俊夫** 教授

平成20年4月に旧感染症・呼吸器内科から感染症科と科名が変更になり、感染症を専門とする診療科となりました。感染症治療に特化した診療科は全国の大学病院ではまだ数える程しかないのが現状です。発症後間もない診療科ですが、現在の感染症科の専門領域、診療体制についてご紹介致します。

[HIV感染症]

HIV感染症は、統計の上では全国的に年々増加をつづける一方で、宮城県では昨年はHIV感染8例、AIDS発症6例が報告されています。東北大学病院でも日和見感染症として様々な診療科に紹介されHIV抗体陽性であることが判明し、AIDSと診断されるケースが増えています。感染症科ではHIV/AIDS診療を積極的に行うことをひとつの柱としています。HIV感染症の治療は抗HIV薬の多剤併用療法が行われるようになってから予後が飛躍的に改善し、不治の病から慢性感染症との位置付けにかわっていま

す。内服を継続することが最も重要となりますが、副作用の少ない一日一回投与の抗HIV薬が開発され続けておりQOLの改善がはかられています。プライバシーの保護はもちろん、パートナーや家族関係、仕事内容や職場環境、経済的な問題にも配慮しなければ有効な治療の継続が困難となる場合があります。東北大学病院では、感染症科のHIV診療ドクターの他、コーディネーターナース、薬剤師、医療ソーシャルワーカーに参加していただき、HIV診療チームとしてHIV/AIDSの治療にあたっており、その活動は2007年のBest Practice賞として東北大学病院長より表彰をうけました。

- お問い合わせ先：TEL 022-717-7766(外来)
- 新患日：月曜・水曜・金曜
- 新患受付時間：8時30分～11時

呼吸器内科の診療紹介

呼吸器内科
科長 **貫和 敏博** 教授
日本呼吸器学会理事長

沿革：平成20年4月より東北大学病院の呼吸器内科(講座名は呼吸器病態学分野)は一つにまとまりました。従来は加齢医学研究所に遺伝子・呼吸器内科(旧抗酸菌病研究所内科)が主として肺がん、肺線維症(肺の炎症)、呼吸器感染症等を、医学部に感染症・呼吸器内科(旧第一内科呼吸器)が主としてCOPD、喘息、睡眠無呼吸症候群等を、また老年・呼吸器内科(旧老年病態学)が誤嚥性肺炎等を、と各々専門でありましたが、反面、院外の皆様からは分かりにくいとの批判がありました。昨年加齢医学研究所臨床分野の医学部異動に関しての双方の合意を受け、まず呼吸器内科の統合がなされました。以下にも述べます外来体制など、暫時御不便をおかけしますが、改善に努力いたしております。

診療対象疾患：以上の経緯からも御理解いただけますように、対象疾患は現在呼吸器診療の最大の課題である肺がん、また高齢と共に増加傾向のある肺線維症や免疫関連肺疾患(サルコイドーシス等)、喫煙の害で発症するCOPD、運転事故やメタボリック症候群とも関連して、社会問題となる睡眠無呼吸症候群(SAS)、吸入療法の普及で大学では少なくなった喘息、抗生物質が普及しながらも複雑な原因による呼吸器感染症などが当科の対象です。

診療体制：

(入院) 病棟は東16階(43床)と西16階(11床)を中心に、ICU、感染病棟も使用しています。診療は主治医2名(指導医：内科認定・専門医、呼吸器専門医レベルと後期研修医：大学院生も含む)よりなります。呼吸器診療が専門のベテラン看護師を中心に、がん化学療法、肺線維症急性増悪等の重

症呼吸不全、COPDの呼吸不全リハビリテーションなどの治療にあたります。毎週月曜日夕方は3時間を症例検討のデータ回診にこめて、医師全員が全症例の問題点を把握する教育や診療上の努力を続けています。病棟の約80%は肺がんの患者ですが、がん拠点病院である東北大学病院の一翼として外科、放射線科とのカンファランス、がん治療均てん化、エビデンス形成への全国臨床試験など、積極的に対応しています。肺線維症では、本年3月まで厚生労働省難治性疾患克服研究事業(びまん性肺疾患)調査研究の班長として疫学、新規臨床試験などに取り組んでいます。

(外来) 現在移行期として外来棟5階では肺がん、肺線維症、呼吸器感染症などを、2階ではCOPD、喘息、SASなどに対応しております(表)。現在建設中の新外来棟が平成21年夏に完成すれば、その2階に呼吸器部門(呼吸器内科・外科)感染症科がまとまり、よりサービスが向上すると期待されます。

地域連携の必要性：大学における呼吸器内科は専門性の高い肺がん、肺線維症、難治呼吸器感染、進行期呼吸不全リハビリ等が中心ですが、現医療システム上も、またキャンパシティとしても長期入院は困難であり、御紹介いただいた患者様の診断、治療方針決定と初期治療後は、引き続き、地域の病院で経過観察や御加療をいただき、定期check up、新規臨床試験参加等で大学病院と連携していただく事が、あるべき姿と考えております。当方からの専門医の外来派遣、コメディカルの方々への講義等も可能な限り対応いたします。どうか御支援、御協力をお願い申し上げますとともに、東北、宮城の呼吸器診療の向上に研鑽を続ける所存でございます。

診療科名	診療曜日	月		火		水		木		金	
		診察室	5F	2F	5F	2F	5F	2F	5F	2F	5F
呼吸器内科 022-717-7875	新患:(月・水・木・金)	福原達朗				横原智博		菊地利明		大河内真也	
	再来:(月・水・木・金)	貫和敏博	奈良正之 玉田勉		飛田渉	海老名雅仁	小川浩正 植藤千代志	渡辺彰		井上彰	小川浩正
	間質性肺炎外来:(月)	海老名雅仁									
	感染症外来:(木)							渡辺彰			
	肺がん外来:(金)									井上彰	
サルコイドーシス外来:(月)		奈良正之 玉田勉									



気管支鏡風景



チャートラウンド風景

肝・胆・膵外科のご紹介

肝・胆・膵外科
科長 海野 倫明 教授

当科診療の特色

肝臓・胆道・膵臓の疾患、特に悪性腫瘍は、症例数が少なく診断・治療が困難であることから、専門的な知識と技能を持つ医師と施設が治療に当るべき疾患です。私たち肝胆膵外科では、消化器外科専門医6名、外科専門医6名からなるスタッフを中心に、肝胆膵外科のスペシャリスト集団としてチームを組んで疾患の診療に当たっています。特に膵臓・胆道癌（胆管癌・胆嚢癌・乳頭部癌）・転移性肝癌のセンター的施設として、宮城県内のみならず東北一円から症例が集まっています。平成19年度には肝葉切除以上の肝切除術が37例、膵頭十二指腸切除術49例、膵体尾部切除術19例と、全国でも有数の手術数を経験しており、日本肝胆膵外科学会から高度技能修練施設(A)および高度技能指導医（海野・江川・片寄・力山）が認定されました。侵襲度が高い手術が多いことから、十分なインフォームドコンセントによる患者さんとの信頼関係構築を心がけ、「患者さんに優しい治療と高度医療との調和」を基本理念として診療に当たっています。

膵癌の外科治療

膵癌は治療切除例であっても5年生存率は約10%という最難治癌の1つです。膵癌に対して門脈合併切除や動脈合併切除などを付加した積極的な切除を行っていますが、手術のみでの治療成績は限界に達していることは明らかです。現在は、外科切除に加えて、術前化学療法・術後補助化学療法などの総合的治療を行うことが重要と考えられています。私たちの科では進行膵癌に対して塩酸ゲムシタピンを中心とした術前化学療法を行った後に、標準的膵手術（膵頭十二指腸切除術・膵体尾部切除術）を施行し、その後速やかに術後化学療法を追加する戦略で膵癌治療に取り組んでいます。

胆管癌の外科治療

胆管癌は、癌の局在により肝門部上部胆管癌と中下部胆管癌に大別されますが、肝門部上部胆管癌には尾状葉全切除を伴った拡大肝葉切除術を、中下部胆管癌に対しては膵頭十二指腸切除を標準術式として施行しています。胆道癌の術前診断では64列MDCT、3T MRI、PET-CTを駆使し手術適応の有無と最適術式を決定しています。胆管癌の外科治療成績は5年生存率約30%とまだ不良ではありますが、近年、成績向上が見られており、最近の肝門部上部胆管癌切除例では5年生存率約50%と良好な成績をあげています（自験例）。さらなる治療成績改善のために、進行胆道癌に対して術前放射線化学療法を施行してから手術に臨む戦略で症例を集積しており、まだ短期的な成績ですが術前治療は有効である可能性があります。

胆嚢癌の外科治療

胆嚢癌はその進行度により、腹腔鏡下胆嚢摘出術、肝中央切除術、肝右葉＋膵頭十二指腸切除術など、侵襲度の異なる様々な術式から最適な術式を選択する必要があり、術前診断

が極めて重要です。進行胆嚢癌の治療成績はいまだに不良であることから、抗癌剤や放射線治療、ステント治療を組み合わせた集学的治療にも取り組んでいます。

転移性肝癌の外科治療

大腸癌や胃癌、GISTなどの肝転移に対して積極的な外科治療を行っています。特に大腸癌肝転移は、確実に病巣を切除することにより約40%の5年生存率をあげています。最近ではFOLFOX、FOLFIRIなどの新規抗癌剤を用いた癌化学療法が発展し治療成績の向上が見られますが、癌化学療法だけでは延命効果のみで完治はほとんど望めません。抗癌剤治療と外科切除術を組み合わせることで、さらなる治療成績向上を図るとともに、これまで切除不能と考えられていた両葉多発肝転移症例や肝・肺同時転移症例に対しても積極的に切除する方針で症例を集積しています。

肝胆膵良性疾患の外科治療

肝胆膵領域の良性疾患の中でも特殊な肝内結石症、先天性胆道拡張症、慢性膵炎、急性膵炎、膵嚢胞性疾患、などの外科治療にも積極的に取り組んでいます。比較的稀な疾患ではありますが、1例1例を大事に治療にあたり、病態の解明とより良い治療法の開発に取り組んでいます。

セカンドオピニオン外来

肝胆膵疾患の外科治療は日進月歩で、一昔前では治療法が無かった疾患も現在では治療対象となることがしばしばあります。当科では肝胆膵領域に精通したスペシャリストがセカンドオピニオン外来を行っています（月・金）。治療法選択や手術適応などで不明な点がある場合や専門医の意見を聞きたい場合など、お気軽にご相談下さい。

臨床研究・症例集積・登録

肝胆膵領域の疾患は数が少なく、それぞれの施設が個別に治療にあたることは症例の散逸に繋がります。また各施設が施設横断的に症例・データを集積し解析する必要があり、私たちの施設を中心とした多施設共同臨床研究を推し進めています。臨床研究はすべて東北大学倫理委員会での承認を受けており、患者様に不利益がないよう配慮されています。外科治療成績向上とEvidence-Based Medicine(EBM)の確立のため、皆様のご助力を賜り、世界に向けたエビデンス発信をしていきたいと考えています。



看護部のご紹介 ー看護部院内研修に「フィッシュ!哲学」を取り入れてー

看護部
星野 悦子 部長

看護部は在院日数の短縮、病床稼働率アップなど、病院経営に参画し、特定機能病院として地域連携や社会のニーズに応えるよう努力している。昨年(平成19年度)東北大学病院は、7:1看護体制取得のために、約200名の看護師を採用し、各病棟に6～10名の新入職看護師が配置された。今年度は113名の看護師採用で、各病棟の先輩看護師は看護の質の向上と後輩育成に力を注いでいる。患者の高齢化・医療の高度化、複雑化、クレーマーへの対応、安全管理等、病院はストレスが多い状況下にある。新人ナースの離職防止と看護職員が生き生きと働き続けるための対策が必要だった。

1年前(2007年1月)に、宮城県看護協会で行われた「フィッシュ!哲学」研修を受講した数名の師長が、病院の現状に前向きに対応して行くためには「フィッシュ!哲学」の考え方を取り入れたいと推奨した。東北大学病院看護部では毎年2月末に「師長・副師長の合同報告会」が行われている。その時に、慈恵医大病院看護部長の大水美名子先生に「フィッシュ!哲学」の講演を依頼した。



フィッシュ!哲学とは、職場の活性化で効果を上げる一つの概念である。シアトルに実在する活気あふれる魚市場で働く人たちの行動観察から生まれた。いまでは、魚市場だけでなく世界中のあらゆる会社や組織で魅力的な職場づくり、仕事のやりがい向上に活用されている。この魚市場には単に魚を買う人だけでなく、次々に繰り広げられる「楽しいこと」「面白いこと」を見に来る人々で溢れている。ここの魚市場は世界的に有名なところとなった。

フィッシュ! 哲学のコンセプトは

1. 「自分で態度を選ぶ (Choose Your Attitude)」
2. 「相手に注意を向ける (Be There)」
3. 「相手を楽しませる (Make Their Day)」
4. 「仕事を楽しむ (Play)」

自分の態度を選び、
しっかり仕事と向き合う
創造性(遊び心)をもって
よい一日をつくろう



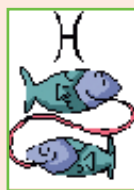
看護部では、フィッシュ!哲学を、院内研修に取り入れた。師長・副師長がすでにフィッシュ!哲学の講演を受講しているため、フィッシュ!哲学を受け入れる基盤が各病棟にできていた。研修受講者は部署で、研修で楽しんで学んだことを持ち帰り活動を開始した。

プリセプター研修では「私の後輩自慢、後輩のいいところ探し」、プリセプターが研修生に内緒でサンキューメッセージカードを作成して研修生に渡した。接遇委員会では「さわやかさんキャンペーン」として看護師のポスターを作製した。このポスターは、見る人にあたたかさを与えるだけでなく、看護師が髪をきちんとまとめ「さわやかさん化」してしまうという現象を起こした。2007年12月には部署で行っている「フィッシュ!」の発表会を行った。スタッフの緊張をほぐすためペーパークラフトを作って、洗面所に置いたり、楽しいプレゼントがもらえますよにとクリスマスツリーを飾った。外来では全員が顔を合わせる朝のミーティングに、フィッシュ!の要素が一杯入った心とむ1分間スピーチを取り入れた。ある部署では急患を受け持った場合「急患ツイテルね、ランキング(あなたが救世主)」を始めポイントをつけることにより、進んで急患を受け入れるようになった。発表会は笑いの渦に包まれ、楽しく明るい気持ちで終了した。



フィッシュ!哲学の導入により、仕事を楽しむ組織風土が作られ、職場が生き生きと活力に溢れてくる。職場では、仕事そのものは選べなくても、どんな風に仕事をするかは自分で選べる。どんな一日にするかは自分次第。不機嫌な態度を持ち込んで憂鬱な一日を過ごすのか、明るく朗らかな態度で一日を楽しく過ごすのも自分次第。

厳しい仕事でも楽しみながらやれば職場の活性化につながっていく。「フィッシュ!哲学」の考え方が広がっていくことで、看護部だけでなく病院職員全員が活性化し、患者にフィードバックできる組織づくりが目標である。



EVENT

病院をあげて取り組みます！ 市民公開講座開催決定！！

「一般市民に東北大学病院の診療内容を広く公開し理解と支援を得ることにより地域医療連携意識を啓発し、機能分化の促進につなげること、さらに市民の理解と支援を得てより高度な医療を展開し研究・教育に反映すること」を目的として、「東北大学病院市民公開講座」を開催することになりました。

東北大学病院全体として市民公開講座を開催することは初の試みで、記念すべき第1回目のテーマ領域は循環器関連です。

今後も診療領域ごとにテーマを定め、年2回(春と秋)定期的に開催していくことにしています。

一般市民の方々だけではなく、医療関係者の方にもぜひ足をお運びいただきたいと考えていますので、9月13日(土)定禅寺ストリートジャズフェスティバルと合わせて仙台国際センターに足をお運びください。

- 日 時：平成20年9月13日(土) 14時00分～16時30分
- 会 場：仙台国際センター 大ホール
- テーマ：「心臓病から市民を守る ―東北大学病院の取り組み―」
- 内 容：第1部 基調講演
第2部 「私の野球人生と心臓病」～村田兆治さんによる急性心筋梗塞体験談～
第3部 パネルディスカッション

上記プログラムの他、血管年齢測定コーナー、AEDの実演コーナー、頸動脈エコー検査(動脈硬化の検査)コーナー、ドリンク無料提供コーナー、東北大学病院のご紹介(パネル展示)等の各種ブースを設け、様々なイベントを予定しています。

*事前に申し込みが必要です。(締め切り：8/31) *参加費は無料です。

【お申込み方法】

はがき、FAXまたはEメールに郵便番号・住所氏名・電話番号・年齢・性別・参加人数(複数人応募の場合は各人分の必要事項)を明記の上、お申し込みください。応募者多数の場合は抽選の上、聴講券の発送をもって当選通知とさせていただきます。心臓病に関するご質問があれば、ご記入ください。

【応募先】

東北大学病院 地域医療連携センター「市民公開講座」担当

は が き 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1番1号

F A X 022-717-7132

E メール ijik002-thk@umin.ac.jp

お問い合わせ 電話 022-717-7131 (土日祝祭日を除く8時30分～17時15分)



INFORMATION

お子さま向け入院案内パンフレットを作成しました！

当院に入院するお子さまとご家族のサービス向上を目的として、東北大学病院オリジナルのお子さま向け入院案内パンフレットを作成し、3歳以上小学生までのお子さまに7月から配付しています。

当院の小児外科の和田基先生監修のもと、児童文学者のおおぬまいくこさん(文と構成担当)、幼児教育専攻の本田幸さん(絵を担当)、おふたりの専門性の高いコラボレーション企画で、所々に飛び出すページがあったり、お絵かきができるようになっていたり、入院パンフレットというよりは「楽しい仕掛け絵本」という方がふさわしい内容です。

パンフレットの中身をほんの少し紹介します。

お子さまは船に初めて乗りこむ乗組員、その船はげんき島へ向かう「トーホクダイガク・ビョーイン号」!「入院時の持ち物リスト」は「トーホクダイガク・ビョーイン号に乗るときに必要なもの」、「検温、食事、消灯等の一日のスケジュールや約束ごと」は「トーホク

ダイガク・ビョーイン号の掟」、「病院のスタッフ」は「船のフェロー」というように読み進めることで、お子さまが楽しみながら病院の設備、検査、手術等について理解できるようになっています。

パンフレットをもらってうれしそうにかかえている子、おかあさんの膝の上で読んでもらっている子、看護師さんと楽しそうに絵本の仕掛けで遊んでいる子…。

病院に入院し治療する「どきどき」を少しでも癒してあげられたら…という作者たちの思いがあふれ出て、子供たちに伝わっているのではないかと思います。



＋ SERIES / 認定看護師紹介

認定看護師とは、「看護ケアの広がりや質の向上を図るために、日本看護協会が認めた特定の分野における熟練した看護技術と知識を有する看護師」をいいます。現在は17の認定分野があり、当院では、13分野16名の認定看護師が「実践」「指導」「相談」の役割を果たすべく活動を行っています。今回は、不妊症看護認定看護師の活動を紹介します。

第7回：不妊症看護認定看護師

外来3階 高橋 恵美子

皆さんは「不妊症看護」と聞いて何をイメージされるでしょうか？自分とは縁のない話だなあ…と思われる方も多いかもしれません。しかし、不妊は決して特別なことではなく、誰にでも起こりうる問題なのです。

現在、日本人の平均初婚年齢は男性30歳、女性28.2歳(厚生労働省：人口動態統計)と晩婚化が進み、不妊の問題に對峙する夫婦も増加しています。そのうえ、結婚したら子どもを産んで一人前という社会通念や、少子高齢化の影響で産むことを期待されるなど、様々なプレッシャーを受けることがあります。

しかし、どんなに努力しても、治療を受けても妊娠が約束されるわけではありません。

月経のたびに喪失体験をし、気持ちが回復する間もなく次の妊娠に向けて努力を繰り返すことで心身ともに疲弊し、健康から逸脱してしまう可能性を孕んでいます。したがって不妊症看護では、夫婦が主体的に自分達の人生と向き合い健康を維持していくために必要な情報提供や相談を行い、治療について自己決定できるよう援助しています。不妊相談を受けた患者様は「気持ちを話せてホッとした」と涙されることも多く、不妊症看護のニーズの高さを感じています。



高橋 恵美子
不妊症看護認定看護師



相談の様子

結果の如何に関わらず、夫婦が不妊の問題に真摯に向き合った過程を有意義だったと考え、その後の人生をいきいきと送れるような支援を不妊チーム一丸となって目指しています。また、当院では宮城県からの委託事業である「不妊専門相談センター」としての役割も担っており、地域に向けた発信もしています。人は思いを語ることで気持ちを整理し、自分達が何をすべきか見出していきます。その過程に寄り添って支えていける看護でありたいと考えています。

そして、不妊の問題は妊娠すれば解決できるものではありません。適切な支援を受けられないと、妊娠中も不妊のアイデンティティから抜け出せず、育児に支障をきたすことがあります。念願だった子どもを抱くことができた時「子育てを楽しみ」と感じながら次世代を育てていけるように、全てのライフサイクルにおいて不妊症看護を提供していくことを目指しています。

◀ INFORMATION

精神科デイケアのご紹介

東北大学病院精神科デイケア(以下デイケア)は、患者様の自立を促し、社会との架け橋になることを目的に平成17年10月に開設しました。以前は退院後の社会復帰までのリハビリ等は外部機関に頼らざるを得ない状況でしたが、デイケア開設により、急性期の入院治療から社会復帰までの一貫した治療が院内で提供できるようになりました。

デイケアでは、プログラムや集団での活動を通して、生活リズムを整えたり、日常での人とのコミュニケーションを振り返ったりしながら、発病が原因で失われてしまった能力の回復等を目標し一人一人が次の目標に向かう為のサポートをしています。

デイケアは定員14名と小規模の為、対人関係を苦手とする方もコミュニケーションを図りやすい環境にあります。また、スタッフとメンバーの距離が近く、家族的な雰囲気が特長です。利用期間を6ヶ月に限定(状況により更に最長6ヶ月の延長可能)する事で、個別の目標を達成する為の通過型デイケアと位置づけ、次のステップに繋げるという目的意識を明確にして取り組んでいます。

プログラムは、「生活技能の向上」、「対人能力向上」、「本人や家族の心理教育」の3つを中核的柱として構成されています。主な

● デイケアプログラム(内容は適宜変更になります。)

	月	火	水	木	金
AM	グループワーク	ヨガ教室 /面接	休み	SST	マンスリーブラン
PM	デイケアミーティング	サークル		アートセラピー /フリー	デイケア講座

心理教育として、精神科医による講義をはじめ、週1回SST(生活技能訓練)も取り入れています。SSTでは一人一人が自分の課題を設定しロールプレイする事で、今までの躰みや新たな視点を学ぶだけでなく、他メンバーの課題を見る事も非常に役立っているようです。

またご家族への支援として、月に1度家族プログラムを行い、ご家族とデイケアとが協力し合ってメンバーを支援していけるよう、スタッフ・ご家族同士の交流を図っています。その際メンバーのデイケア活動中のデジカメ写真をスライド上映し、デイケアで見せる楽しそうな表情やエピソードをお伝えする事も、ご家族の安心に繋がっていく事があります。

開設して3年足らずと言う事もあり、まだまだ院内でも認知度が低い状況にありますが、他院との連携を図りつつ、少ないスタッフで模索しながら頑張っています。これを機に、メンバーと共に作り上げていくデイケアを知って頂けたら幸いです。

● デイケールーム



新患日一覧

※受付時間は8:30~11:00までとなっております。(皮膚科は10時まで、眼科は11時30分までとなっておりますのでご注意ください)
 ※() 内の電話番号は各診療科外来です。 (H20.7現在)

循環器内科 (022-717-7728)	月~金	移植・再建・内視鏡外科 (022-717-7742)	食道外科:水・木	小児外科 (022-717-7758)	月~金
感染症科 (022-717-7766)	月・水・金		血管外科:月・火	皮膚科 (022-717-7759)	月~金 受付時間(8:30~10:00)
腎・高血圧・内分泌科 (022-717-7778)	水・金	心臓血管外科 (022-717-7743)	移植・肝臓外科:火・金	眼科 (022-717-7757)	月~金 受付時間(8:30~11:30)
血液・免疫科 (022-717-7730)	水・金	整形外科 (022-717-7747)	木・金	耳鼻咽喉・頭頸部外科 (022-717-7755)	月・水・金
糖尿病代謝科 (022-717-7779)	火・金	形成外科 (022-717-7748)	月~金	肢体リハ (022-717-7751)	月・水・木・金
消化器内科 (022-717-7731)	火・金	麻酔科 (022-717-7760)	月・水・金 ※術前相談のみ	運動リハ (022-717-7751)	月・水・木・金
老年科/漢方内科 (022-717-7736)	老年科:水 ※もの忘れ外来は完全予約制	緩和医療科 (022-717-7768)	月・木 ※完全予約制	内部リハ (022-717-7751)	月・水・木・金
	漢方内科:火・水 ※完全予約制	呼吸器外科 (022-717-7877)	月・水・金	高次リハ (022-717-7751)	月~金
心療内科 (022-717-7734)	月・水・金	婦人科 (022-717-7745) 産科 (022-717-7746)	月~金	放射線治療科 (022-717-7732)	月・木・金 ※完全予約制
呼吸器内科 (022-717-7875)	月・水・木・金	泌尿器科 (022-717-7756)	月・火・水・金	放射線診断科 (022-717-7732)	CT・MRI検査外来 月~金 インターベンション・画像診断外来 月・木
腫瘍内科 (022-717-7879)	月・火・木 ※完全予約制	神経内科 (022-717-7735)	火・金		加齢核医学科 (022-717-7880)
肝・胆・膵外科 (022-717-7740)	月・金 ※完全予約制	脳神経外科 (022-717-7752)	月・木・金	総合診療部 (022-717-7509)	月~金
胃腸外科 (022-717-7740)	一般新患:月・水・金 ※完全予約制	脳血管内治療科 (022-717-7752)	火・金		
	胃腸悪性疾患:水 ※完全予約制	精神科 (022-717-7737)	月・水・金		
	炎症性腸疾患:木 ※完全予約制	小児科 (022-717-7744) 小児腫瘍科 (022-717-7878)	月~金		
乳腺・内分泌外科 (022-717-7742)	乳腺外科:月・水・木	遺伝科 (022-717-7744)	月~金 ※完全予約制		
	甲状腺外科:火・金				

INFORMATION

腫瘍内科 完全予約制のご案内

平成20年6月より腫瘍内科が完全予約制となりました。

●ご予約受付日: 月~木 (完全予約制)

ご予約方法

1. 地域医療連携センター宛に「診療予約申込書」をFAXにてご送付ください。
2. 予約日を調整し15分以内に予約票を返送致しますので、患者さまにお渡し願います。
※「診療予約申込書」はHPからダウンロードできます。また、お電話を頂ければFAXでお送り致します。

フットセンターご予約方法のご案内

平成20年7月よりフットセンターのご予約を地域医療連携センターで行っております

フットセンターは**完全予約制**となりますので下記のとおりお申し込みください。

ご予約方法

1. 地域医療連携センター宛に「診療予約申込書」をFAXにてご送付ください。
2. 予約日を調整し15分以内に予約票を返送致しますので、患者さまにお渡し願います。
※「診療予約申込書」はHPからダウンロードできます。また、お電話を頂ければFAXでお送り致します。

- フットセンターご予約受付日: 金曜午後 (完全予約制)
- フットセンターご予約時間: 13:30~、14:00~、14:30~、15:00~、15:30~ (新患枠として1日5枠)

編集後記

今回の「With」はいかがだったでしょうか?10号目となる次号は、今回ご紹介している「東北大学病院市民公開講座」の様子を写真満載でたっぷりお届けしたいと思っています。この原稿を書いている今は、その開催準備で大わらわ。でもそこは「フィッシュ!

哲学」(看護部のご紹介のページ参照)を取り入れることで、楽しみながら進めています。「仕事そのものは選べなくても、どんな風に仕事をするかは自分で選べる…」すてきな言葉です。

(S.W)



● 編集・発行 東北大学病院 地域医療連携センター TEL: 022-717-7131 FAX: 022-717-7132 E-mail: ijik002-thk@umin.ac.jp

ご意見、ご要望がございましたら、地域医療連携センターまでお願いいたします。

